

産官民学が連携して進める 富士山南陵工業団地のコミュニティの森づくり



富士山南陵の森フォレストセイバープロジェクト

〒419-0305 静岡県富士宮市下柚野165
TEL 0544-66-0790
URL <http://fuji-nanryo.com/fspj.html>

富士山南陵の森フォレストセイバープロジェクト(略称FSPJ)は、工業団地の造成でいったん失われてしまった富士山南陵の森を、富士山の麓の森としてふさわしい環境林として復活させると共に、地域のさまざまな人々を繋ぐコミュニティの森として活用しながら、「森林を守り育てる人づくり」を目指して活動しています。

富士山南陵工業団地に進出した12企業が出資者となり、地域の環境NPOを核にして、地域の大学の協力を得ながら、富士宮市と協定を結び、活動を続け本年度で10年目を迎えました。

この間、進出企業の社員に参加を呼びかけ続けてきた企業の森づくり活動やセミナーの開催、地元住民を対象とした自然体験プログラムの実施、企業間及び企業と地元住民の交流を促す「FSPJまつり」の企画・運営、植生の回復状況のモニタリングやカヤネズミの生息状況の調査など、産官学民が連携して、さまざまな活動を展開しています。

この活動の特徴としては、「工業団地進出企業が、敷地内の緑化ではなく、工業団地周辺の大きくまとまった緑地を保全するために出資し、その緑地を保全する担い手になっている点」や「工業団地の造成の際に、将来の周辺緑地の森の姿を想定し、自然植生に倣った緑化手法が取り入れられており、その計画に沿った緑が復元されてきている点」等が挙げられます。

今後も、今回の受賞を励みとして、富士山南陵の森を守り育てる人づくりを産官民学の協働で進めてまいります。



南陵の森での自然体験プログラムの様子



工業団地進出企業の職員が進める森づくり活動